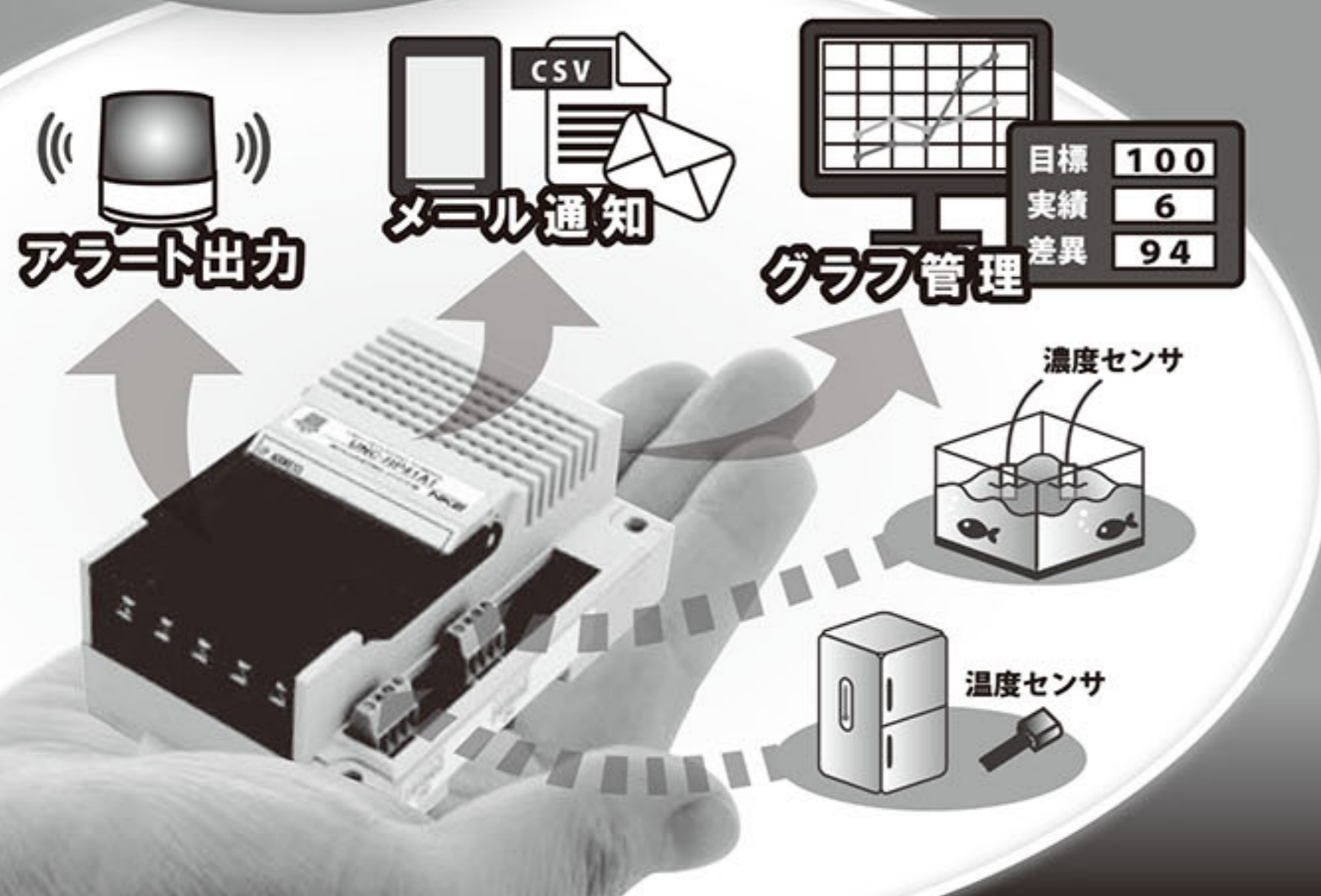


簡単IoT れんら君

既存設備への後付けも簡単！ 設備や環境の状況把握が可能！



れんら君のアプリケーション事例



LANを通じて簡単に現場のデータ収集や変化を発信することができます。

NKE

保守・メンテにも簡単IoT活用

簡易情報
連絡端末

予防保全用途で需要を



林 智広リーダー

工場自動化（FA）機器や電子ネットワーク機器メーカーのNKE（社長＝中村道一氏、本社・京都市伏見区羽束師菱川町366-1）は、既存設備への後付けで簡単にIoT（モノのインターネット）を構築できる簡易情報連絡端末「れんら君」シリーズを空調・冷熱分野の設備メンテナンスに役立てる提案を実施している。「れんら君」には多様なアプリケーション

工場自動化（FA）機器や電子ネットワーク機器メーカーのNKE（社長＝中村道一氏、本社・京都市伏見区羽束師菱川町366-1）は、既存設備への後付けで簡単にIoT（モノのインターネット）を構築できる簡易情報連絡端末「れんら君」シリーズを空調・冷熱分野の設備メンテナンスに役立てる提案を実施している。「れんら君」には多様なアプリケーション

「れんら君」は各種センサーと接続することで、ビル・工場内の設備稼働状況や環境変化をモニター画面にグラフ表示させることや、あらかじめ設定した上限・下限値を超えた時に自動メール通知を発する機能を備える。設定はパソコンと「れんら君」をLANで

「れんら君」は各種センサーと接続することで、ビル・工場内の設備稼働状況や環境変化をモニター画面にグラフ表示させることや、あらかじめ設定した上限・下限値を超えた時に自動メール通知を発する機能を備える。設定はパソコンと「れんら君」をLANで



新本社の事務所棟外観

またIoT関連展示会やウェブ活動や製品ラインアップを拡充するなど需要開発を進めてきた。その結果、16年度、17年度とも前年度比2

倍の出荷台数を実現。18年度には同3倍の出荷台数に達するなど、実販台数は非公表ながら「れんら君」は直近3年間で高伸長率を記録している。空調・冷熱設備メンテナンスでは、振動センサーと組み合わせる冷凍機やエアコン室外機が発する振動値をグラフ化し、振動値の異常を検知した場合、設備管理者にメールで通知することで機器故障の予防保全に役立てられる。また温度センサーや湿度センサーを使用し冷凍冷蔵庫や恒温恒湿庫の温湿度監視のほか、pHセンサーを用いた冷却循環水の水質監視用途などにも使える。営業企画グループの林智広リーダーは「設備メーカーから機器にIoT機能を後付けする用途で採

倍の出荷台数を実現。18年度には同3倍の出荷台数に達するなど、実販台数は非公表ながら「れんら君」は直近3年間で高伸長率を記録している。空調・冷熱設備メンテナンスでは、振動センサーと組み合わせる冷凍機やエアコン室外機が発する振動値をグラフ化し、振動値の異常を検知した場合、設備管理者にメールで通知することで機器故障の予防保全に役立てられる。また温度センサーや湿度センサーを使用し冷凍冷蔵庫や恒温恒湿庫の温湿度監視のほか、pHセンサーを用いた冷却循環水の水質監視用途などにも使える。営業企画グループの林智広リーダーは「設備メーカーから機器にIoT機能を後付けする用途で採

資機材・保守技術

用頂けることが多い。当社としては今後、設備メーカー様向けに加え、エンドユーザー様への直販にも取り組み、ユーザー様のニーズを捉えたさらなる機能アップに取り組みたい」と語る。こうしたものづくりを加速するべく、同社は従来京都府長岡京市に立地していた本社を伏見工場（京都市伏見区）敷地内に新築した事務所棟に移し、1月7日から営業を始めた。旧本社に属していた電子部品製造部門も同工場の工場棟へ移転し、伏見工場で製造するFA機器との統合生産体制を整えた。本社移転によって経営判断機能をはじめ企

画、管理、営業、開発、製造を一体運営する新体制に刷新した。部門間連携を一層強化し、シナジー創出につなげる方針だ。